

地域包括ケア TIMES タイムズ

2025.8.1

編集・発行／厚木市地域包括ケア推進課（市役所第二庁舎5階）
〒243-8511 厚木市中町3-17-17 TEL.046-225-2388 FAX.046-221-1640

第20号

抜き取ってお読みください

『認知症』を 自分のこととして考えてみませんか？

「物忘れ」は誰にでもあることですが、認知症は脳の機能が低下した状態であるため、普通の物忘れとは違いがみられます。

次のうち、どちらが認知症の疑いがある症状かわかりますか？

第1問

- A: 昨日の夜ご飯、何を食べたか忘れた。
B: 昨日、夜ご飯を食べたかどうか忘れた。

第2問

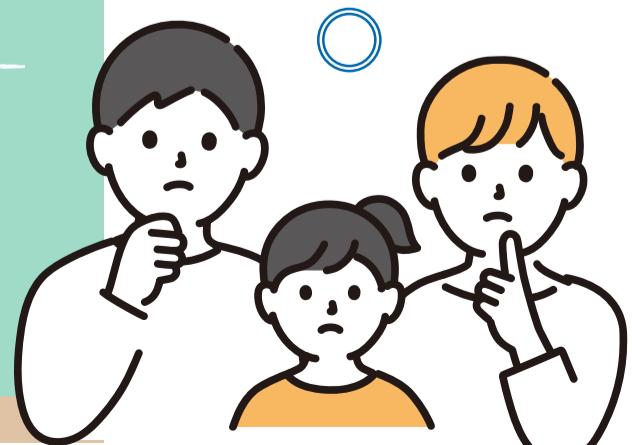
- A: よく知った人の名前が思い出せない。
B: よく知った人が誰なのか全くわからない。

第3問

- A: 火曜日を水曜日と間違える。
B: 夏を冬と間違える。

答えは次のページです。

認知症?
物忘れ?



表紙のクイズの答えは、すべて『B』です。
 『A』は認知症ではなく、物忘れです。
 では、認知症とはいいったいどのようなものでしょうか。



認知症ってそもそもなあに？

認知症は、脳の病気や不調によって認知機能が低下し、日常生活に支障がみられる状態です。本人からの訴えだけでなく、周囲が感じる「いつもと違う様子（＝小さな異変）」から認知症の発見につながることもしばしばあります。

年齢を重ねるほど発症率が高くなるものであり、これからさらに高齢化が進むことが予想されている中で、誰もがかかる可能性があるといっても過言ではありません。

認知症になるとどんな症状がみられるの？

認知症になると、徐々に次のような症状が現れてきます。

何度も同じことを
話したり、同じものを
買ってきたりする

道具の使い方や
着替えの仕方が
分からなくなる



よく知っている人や
物の名前が
出てこなくなる

置き忘れやしまい忘れが
多くなり、よく探し物を
するようになる

認知症の人には共通する気持ちとは？

認知症は本人にとってもつらいものです。

「不安で仕方ない」「悔しい」「迷惑をかけて申し訳ない」「役に立ちたい」という気持ちが、認知症の人には共通してみられます。

新しい認知症観

認知症になつたら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる、という考え方です。

認知症の人を地域で見守り、支える取り組み

認知症の人やその家族が安心して暮らせるよう、さまざまな制度やサービスがあります。



認知症に関する身近な相談窓口

平日 午前8時30分から午後5時15分まで 土曜 午前8時30分から正午まで
(祝日、年末年始を除く)



■厚木地域包括支援センター

中町3丁目18番5号ソーケン本厚木ビル401号室
TEL.046-297-2970 FAX.046-297-2900

■厚木南地域包括支援センター

旭町2丁目3番13号
TEL.046-258-6705 FAX.046-258-6709

■依知地域包括支援センター

関口831番地1
TEL.046-246-0108 FAX.046-265-0128

■睦合地域包括支援センター

三田南2丁目1番1号山口ビル101号室
TEL.046-297-7338 FAX.046-297-7340

■睦合南地域包括支援センター

妻田北4丁目3番8-101号
TEL.046-294-1380 FAX.046-294-1381

■荻野地域包括支援センター

鳶尾2丁目25番10号
TEL.046-241-5780 FAX.046-242-6188

■小鮎・緑ヶ丘地域包括支援センター

緑ヶ丘2丁目2番12号グリーンヒルズ1階
TEL.046-204-8181 FAX.046-204-8138

■玉川・森の里地域包括支援センター

小野2240番地1
TEL.046-250-9091 FAX.046-247-1266

■南毛利地域包括支援センター

温水西2丁目27番38号カーネーションパーク1階
TEL.046-250-1108 FAX.046-250-1105

■相川・南毛利南地域包括支援センター

愛甲東1丁目1番19号
TEL.046-220-0643 FAX.046-220-0645

地域包括支援センターの
担当地区はこちら



あつぎ オレンジフェスタ 2025

9月は世界アルツハイマー月間です。

厚木市では、認知症に対する理解を普及・啓発するため、さまざまなイベントを開催します。

どなたでも
参加OK！

- ・迷路クイズチャレンジ
 - ・認知症サポーター養成講座
 - ・講演会
 - ・VR体験
- など



世界アルツハイマー月間
9月21日日
10:00～16:00

あつぎ市民交流プラザ
(6階・7階)



申し込みをする講座がありますので
詳しくは市ホームページをご覧ください。

認知症サポーターステップアップ講座

認知症サポーター養成講座を受講したけど、もっと認知症の知識を深め、「認知症の人やその家族を支えたい！」という方のために、より実践的な講座を開講します。

日 程	10月13日(月・祝)、14日(火) 10時～15時 ※どちらか1日
場 所	あつぎ市民交流プラザ(6階 ルーム610)
対 象	市内在住・在勤の方すでに認知症サポーター養成講座を受講済みの方
定 員	各日40人(先着順)
受講料	無料
申し込み	電話・FAX、Eメールにて住所、氏名、電話番号、希望日を書き、10月3日まで

健康アプリ「みんチャレ」を使ったスマホ講座

スマホの基本操作と健康アプリの利用方法を学ぶ講座です。

初めての方を対象とさせていただきます。

日 程	9月3日(水)、17日(水) 9時30分～11時30分 ※どちらか1日
場 所	あつぎ市民交流プラザ(6階 ルーム604)
対 象	市内在住の65歳以上でスマホを使って文字入力ができる方
持ち物	スマホ(アプリ入手のためのIDとパスワードを控えてください)
定 員	各日20人(先着順)
受講料	無料
申し込み	8月8日から8月22日まで電話申し込み

「認知症サポーターステップアップ講座」と「みんチャレ」に関するお申し込みはこちらまで

申し込み先 厚木市 地域包括ケア推進課 在宅福祉推進係

TEL 046-225-2388 FAX 046-221-1640 Eメール 1910@city.atsugi.kanagawa.jp

募集

買い物や通院などの外出にお困りの方を支援しませんか？

国土交通大臣認定 福祉有償運送・セダン等運転者講習 【受講者には修了証授与】



高齢や障がい等により、外出が困難な方の外出支援(運転・添乗・付添い)に必要な基礎知識や心構え、リスクへの備えと対応、車いすの扱い方など、必要な知識、身体介助等の技能を学ぶことができます。

日 程	9月 28日(日) 9時～18時
会 場	厚木市役所第2庁舎 16階会議室 市役所駐車場等
対 象	普通運転免許を取得している 市内在住・在勤・在学者

受講料	無料
持ち物	筆記用具・運転免許証・昼食
定 員	27人(先着順)
申し込み	8月 15日から9月 15日まで 二次元コード申し込み



申し込みはこちら

- ◇主 催 厚木市 地域包括ケア推進課 福祉政策係
◇問 合 せ TEL: 046-225-2200 FAX: 046-221-1640
◇実施団体 認定NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク